

# 温泉分析書

申請者 住所 仙台市青葉区大町2丁目9番13-404号

源泉名 六十二万石の湯

氏名 株式会社 アルカディア・ジャパン 様

湧出地 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字新地東裏山12-160

## I 湧出地における調査結果

① 25℃以上で温泉

冷鉱泉	25℃未満
低温泉	25℃以上34℃未満
温泉	34℃以上42℃未満
高温泉	42℃以上

1. 調査者名：(財)宮城県公害衛生検査センター 今野雅俊      2. 調査年月日：平成 21 年 3 月 10 日
3. 泉 温：52.3℃(気温 9.4℃)      4. 湧出量：225.0 l/min (動力湧湯)      5. pH値：7.5
6. 知覚的試験：薄黄色で、濁り殆んどなく、無味無臭にして、弱アルカリ性である。
7. ラドン(Rn)： / ×10<sup>-10</sup> Ci · / M · E / kg

## II 分析室における分析結果

② 液性の分類

酸性	pH3未満
弱酸性	pH3以上6未満
中性	pH6以上7.5未満
弱アルカリ性	pH7.5以上8.5未満
アルカリ性	pH8.5以上

1. 分析者名：(財)宮城県公害衛生検査センター 遠藤尚子      2. 分析終了年月日：平成 21 年 3 月 27 日
3. 知覚的試験：薄黄色で、濁り殆んどなく、無味無臭にして、弱アルカリ性である。
4. 密 度：1.0007 (20℃/4℃)      5. pH値：7.7 (24時間後測定)      6. 蒸発残留物：642.9 mg/kg (110℃)

泉 質 単 純 温 泉      ③      ②      ①  
 低張性弱アルカリ性高温泉  
 (旧名：単純温泉)

(調査分析法・「鉱泉分析法指針」)

泉質名は、溶存物質が 1000 mg 以上の場合、陽イオン 陰イオンのミリバル%が20%越えた項目を高い順につけていく。  
 溶存物質が 927.2mgで、1000mgに限りなく近いので、1000mgあると仮定し、泉質名をつけてみると・・・、  
**ナトリウム-炭酸水素塩泉 (旧名：純重曹泉)** となる。  
 泉質別効能は、きりきず、やけど、慢性皮膚病となる。

平成 21 年 3 月 27 日

分析責任者 菊地 成年

温泉成分分析機関 宮城県知事指令 (宮城第 1 号)

〒989-3126 仙台市青葉区落合二丁目15番24号 電話 022(391)1133(代表) FAX 022(391)7988

財団法人 宮城県公害衛生検査センター  
 理事長 生出 泉太郎